

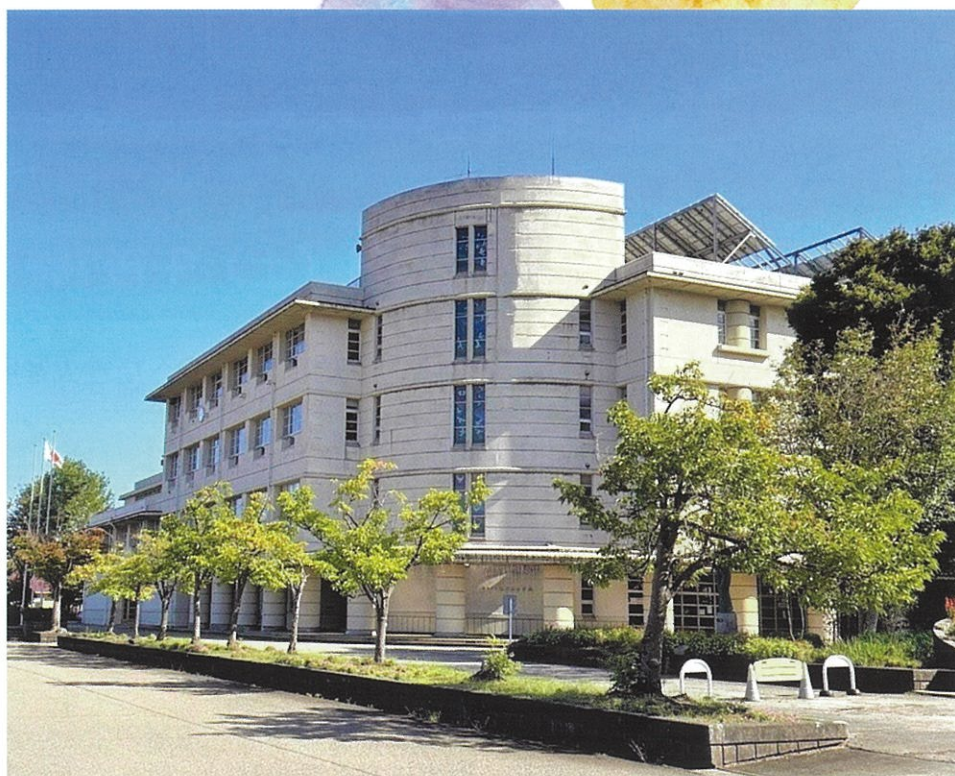
放生津小学校利活用 ニュースレター

Vol.2

R6.12月発行

放生津小学校と新湊小学校の統合に伴い、令和9年度から放生津小学校の新たな利活用が始まります。

市では、子どもたちの健やかな成長を支えてきた放生津小学校の利活用に向けて、地域の方々との話し合いを重ねながら、一緒に利活用を考えてきています。ニュースレターとして、学校利活用に向けた取組状況などをお知らせします。



〒939 - 0294

富山県射水市新開発410番地1

射水市 公共施設マネジメント推進課

TEL: 0766-51-6638



: shisetsu-mg@city.imizu.lg.jp

令和6年度の取組状況

放生津小学校でのトライアル事業～学校に泊まろう～

学校跡地の利活用の可能性を探るため、7月20日～21日に、一般社団法人とやまのめとアスリッシュによって、市内外の子どもたちを対象としたサマーキャンプが開催されました。

各ブースにて、新湊の曳山のお祭り体験、食育への取組、絵画体験、足の健康チェック&体幹トレーニング等を実施しました。

そのほか、子どもたち自身でピロティにテントを張り、近くの銭湯に行ったり、地元のお店のオードブル等を食べたりしました。

夏の暑い時期でしたが、子どもたちの元気な笑い声がずっと学校中に広がっていました。



放生津小学校の跡地利活用を考える「みんなで一緒に語り合おう！」 第1回ワークショップの開催①7月20日（土）午後7時～

【テーマ】：この「がっこうの未来」についてあなたの思いを教えてください。



○会場：放生津小の体育館前で、たき火を囲んで実施

○参加者：19名

○放生津の歴史と文化を学ぼう

講師：新湊博物館 松山学芸員

○参加者同士の「語らう会」

ファシリテーター 東京都立大学 讃岐先生

【主な意見】

- ・子どもたちが生きる力を伸ばす新しい教育ができる場。
- ・大人にとっても学びの場。
- ・子どもたちの生活の中心。地域の中心。人が集まる中心。
- ・文化、歴史はなくなる。新しい文化をここから作りたい。

第2回ワークショップの開催②9月21日（土）午後1時～



【テーマ】：これまでの意見（アイデア）をもとに、この場所の活用イメージを考えよう。

○会場：放生津コミュニティセンター

○参加者：19名

○グループワーク（3グループ）

ファシリテーター 東京都立大学 讃岐先生

【第2回のグループワークで出てきた意見のまとめ】

Aグループ 『地域を元気にする!!』

観光

- ・観光客が集まる場所
- ・宿泊場所
- ・内川観光との連携

地域交流

- ・本屋、借本屋
- ・教育（大学のサテライトキャンパス）
- ・人が集まる図書館
- ・池、花壇
- ・食事ができる場所（海鮮丼、かけ中）
- ・マルシェ
- ・コーヒーショップ
- ・高齢者同士の交流（福祉）

遊び

- ・楽しい場所
- ・大きな公園
- ・軽い運動ができる広場
- ・スポーツ（野球など）が出来る場所
- ・ゲームセンター
- ・釣り具屋

Bグループ 『大切にしたい場所』

商業

- ・激安コンビニ
- ・スーパー
- ・ドンキホーテ
- ・本屋
- ・映画館
- ・カラオケ
- ・美容院

飲食

- ・スタバ
- ・たこ焼きや
- ・フードコート

公共

- 避難所
- ・博物館
- ・史料館
- ・歴史館
- ・学習できる図書館
- ・教育の場
- ・誰でも利用できるコミセン
- ・介護施設
- ・歯医者

スポーツ

- ・スポーツセンター
- ・バッティングセンター
- ・野球場、室内練習場
- ・野球用品店
- ・大谷翔平の家
- ・体育館
- ・プール
- ・ボーリング場
- ・釣り具屋
- ・釣り堀

その他

- ・タクシー会社
- ・レンタサイクル店
- ・ホテル
- ・大きなゲームセンター

Cグループ 『人が集まる場所・移住者が来て元気に』

スポーツ

- ・地域の子どもたちがスポーツ（ボールを使う）が出来る場所
- ・いつでも遊べる場所
- ・スポーツジム

飲食

- ・カフェ
- ・スタバ
- ・フードコート
- ・すしざんまい
- ・市民ギャラリー（市民の作品展示）とカフェ

●防災拠点・防災備蓄

観光

- ・芝生公園
- ・歴史の博物館（内川中心）

学び

- ・学習の場
- ・学校のフリースクール化
- ・若手クリエイターのオフィス
- ・富山大学芸術学部の卒業生の受け皿

その他

- ・放生津コミセンを移設
- ・図書館
- ・寄席
- ・スーパー
- ・浴場



第3回ワークショップの開催③10月8日（火）午後7時～

【テーマ】：ジブンゴトとして考える～私たちにできること～

○会場：放生津コミュニティセンター

○参加者：16名

○グループワーク（3グループ）

ファシリテーター 東京都立大学 讃岐先生

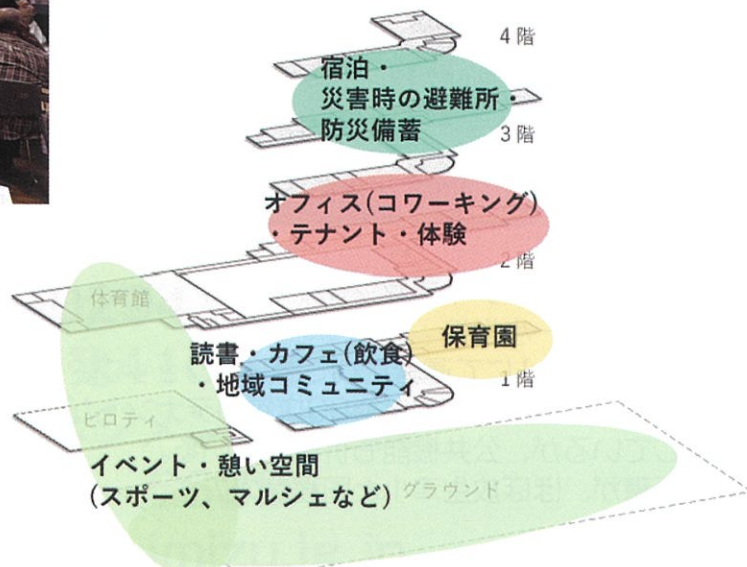


ワークショップを通じて
見えてきた利活用のキーワード

公的
利活用

学び
居場所
つながる
歴史

民間
利活用



【フロアごとの活用イメージの一例】
これまでの取組の中から出てきた意見等を、具体的に学校の階層に落とし込んだイメージです。
なお、あくまで一例であり決定したものではありません。

これまでの取組で見えてきたこと

- ・地域課題の解決のため、優先事項を地域で共有できました。
- ・現在の建物を活かしながら、公共施設に限らず、民間事業者も含めた複合利用を目指すことが共有できました。
- ・このエリアをどのようにしていきたいかというビジョン（実現したい未来）の軸となるキーワードが整理されました。→**軸となるキーワード 学び・居場所・つながる・歴史**

- ・公的利活用について整理しました。

主な公的機能 ①災害時の避難施設・防災施設としての機能
②放生津保育園移設による保育園機能
③グラウンドを利活用した公園（広場）機能

- ・複合施設の場合、施設全体をマネジメントする人が必要であること。
- ・民間利活用は、「地域との連携」や「地域との協力体制」が不可欠なこと。



これからの課題

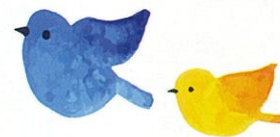
- ・民間利活用の可能性の調査
- ・ビジョンに沿った活用が期待できる民間事業者の掘り起こし
- ・安定的に事業継続ができる運営事業者の選定

今後の予定

①令和6年度末に利活用の基本方針の決定、公表

②令和7年～8年度

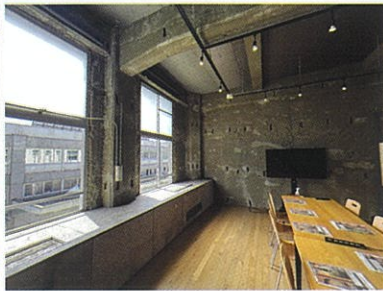
運営事業者の選定及び事業化に向けた準備



* 参考 * 先進地の事例①山形県山形市



②大阪市生野区



やまがたクリエイティブセンター（Q1）
旧山形市立第一小学校
現在株式会社Q1にて運営されており、ショップ、オフィス、ギャラリーなど約30店舗のテナントが入居しているが、公共機能も併設している。
延床面積が、ほぼ放生津小と同程度の広さ。

いくのコーライブズパーク
旧御幸森小学校
株式会社RETOWNと地元の特定非営利活動法人IKUNO・多文化ふらっとによる共同運営。
20年間の定期借地権による運営は、生野区では初めてのケース。緊急時には避難所としても使用。

放生津小学校の跡地利活用を検討する事業者の方は、こちらから
ご意見をお聞かせください。



引き続き、みなさんのご協力を
よろしくお願いします！



公的機能にも民間活力を活用！

公共×民間

避難所 防災×公園



【例】イケサン・パーク（南池袋）

保育園 保育園×多様な学び



【例】まちなか保育園（東京都）

公園

公園×マルシェ



【例】ヒバテラス（盛岡）



Q1. 保育園があると、民間利活用の幅が狭くなりませんか？ 保育園の園児の安全・安心は守られますか？

A1. 例えば、カフェ機能が併設することで、働く大人の様子を子どもたちが目の当たりにする機会になることや、子育て世代の働く場、コミュニティの場になる可能性があるなど、複合施設としての効果を期待します。また、管理区分を明確にすることで、園児の安全・安心を守ることはできます。

Q2. 放生津小学校の跡地に、保育園を移設するメリットは？

A2. 施設内で働く大人や施設を訪れる人たちとの交流や関わりを通じて「学び」が得られる点、そして災害時には、子どもたちが速やかに高所への垂直避難ができる環境になります。

Q3. どんな公園のイメージですか？

A3. 放生津の歴史を感じたり、マルシェやスポーツなどが楽しめる公園や広場をイメージしています。